



JUNBA 理事会 (第 164 回) 議事要旨

日 時: 令和 4 年 7 月 28 日 (木) 15:30-

場 所: オンライン

出席者:

【理 事】奈良先端科学技術大学院大学 (三宅会長)、名古屋大学 (神山副会長)、
大阪大学 (Scott 理事)

【アドバイザー】サンフランシスコ総領事館 (黒川領事)

【事務局】日本学術振興会 (中別府事務局長、太田副センター長、橘、安藤)

【オブザーバー】名古屋大学 (岡田)、大阪大学 (東澤)、東京理科大学 (熊谷)

1. 第 163 回 JUNBA 理事会議事要旨の承認について【資料 1】
議事に先立ち、資料 1 に基づき、第 163 回理事会議事要旨案を了承した。

2. 議題

- (1) 令和 4 年度第 1 回 JUNBA 勉強会について【資料 2-1~2-5】

事務局、第一回勉強会の当番校である名古屋大学及び桜美林大学から、資料 2-1、2-2、2-3、2-4、2-5 に基づき、令和 4 年度勉強会の実施企画案等について説明があった後、意見交換が行われた。

主な意見等

ブレイクアウトルームの扱いについては、各講演者と参加者の質疑応答の場とし、各理事は質問を促す形でブレイクアウトルームに参加することが確認された。

ブレイクアウトルームの参加者の振り分けについては、当日参加者の希望に合わせて振り分けることとなった。

三宅会長から、英語による講演部分の通訳として、法人向けオンライン通訳サービス OCiETe 通訳の提案があった。

Website: <https://ociete.jp/>

なお、九州大学、熊本大学等においても使用実績がある旨、付言された。

審議の結果、本通訳サービスを候補として、見積をとり、引き続き準備を進めることとなった。

また、支払いは日本円で決済する見込みであるため、事務手続きを確認するとともに、原稿等の必要性についても引き続き確認することとなった。

North 先生から、Mary 氏について、当日の講演は原稿を用意せず、パワーポイント資料のみとなる可能性がある旨、共有があった。

当日スケジュールにおいて、ZOOM 上での参加者アクセス時間として 9:00 から 9:05 まで、5 分ほど設けられていたが、対外的な資料からは、記載を落とし、9:00 から開会挨拶を開始することとなった。

JUNBA 勉強会の周知先について、あさがお ML 宛てにも周知することが確認された。

(2) 令和 4 年度第 2 回 JUNBA 勉強会について【資料 3-1～3-2】

事務局から、資料 3-1、3-2 に基づき、令和 4 年度第 2 回勉強会のテーマ案について説明があった後、意見交換が行われた。

主な意見等

年 2 回開催を予定している勉強会の対象について、大学経営陣向け及び実務担当者向けに設計することが議論されてきたが、講演者等を考慮し、必ずしも沿わなくてもよいのではないかと。

米国の SDGs にかかる取り組みについて、テーマとして扱うのはどうか。

次回理事会までに、担当校の奈良先端と大阪大学において検討することとなった。

(3) 令和 4 年度理事会の開催日程について

事務局から、8 月以降の理事会開催時間について、これまで North 理事が講義のため、開始時間を 30 分前倒して開催していたが、従来の時間に戻すことについて、説明があった後、諮られ、審議了承された。

3. 報告事項

(1) 各拠点の令和 4 年度の活動計画について【資料 4】

事務局から、資料 4 に基づき、報告があった。

その後、大阪大学から、資料 4 に基づき、活動予定の更新内容について報告があった。

(2) その他

特になし。

《配布資料》

【資料 1】第 163 回 JUNBA 理事会議事要旨(案)

【資料 2-1】令和 4 年度第 1 回 JUNBA 勉強会企画(案)(日)

【資料 2-2】令和 4 年度第 1 回 JUNBA 勉強会企画(案)(英)

【資料 2-3】令和 4 年度 JUNBA 勉強会担当別スケジュール(案)

【資料 2-4】令和 4 年度 JUNBA 勉強会開催へのご協力について

【資料 2-5】令和 4 年度 JUNBA 勉強会開催の御案内

【資料 3-1】令和 4 年度 JUNBA 勉強会テーマ(案)

【資料 3-2】令和 4 年度 JUNBA 勉強会の実施にかかる検討事項

【資料 4】2022 年度 JUNBA 活動計画表

次回理事会の日程: 令和 4 年 8 月 25 日(木)16 時 00 分～(PDT)、26 日(金)8 時 00 分～(JST)